

国際かんがい排水委員会 (ICID)
第76回国際執行理事会及び
第4回世界かんがいフォーラム
の結果報告
(案)

令和8年3月27日

農林水産省農村振興局

目 次

【報告事項】

ICID第76回国際執行理事会(IEC)及び第4回世界かんがいフォーラムの結果報告(案)	1
--	---

(参 考)

国際かんがい排水委員会(ICID)の概要	8
ICID日本国内委員会について	10
世界かんがい施設遺産の登録済み施設(2014年～2025年)	11

ICID第76回国際執行理事会(IEC)及び第4回世界がんがいフォーラムの結果報告

1. 日程、参加者

- 第76回IEC及び第4回世界がんがいフォーラムは、2025年9月7日～13日にマレーシア・クアラルンプールで開催。39か国及び国際機関等から約750人が参加。
- 日本国内委員会から渡邊委員長ほか15名の委員及び事務局が参加。

2. 第76回国際執行理事会の概要

- ICID日本国内委員会委員は、各所属委員会・作業部会等において情報発信を行い議論を主導し、我が国のプレゼンスの向上を図った。同時に、各委員会・作業部会等における議論を通じて、国際的な動向、各国の最新技術等に関する情報収集を行った。
- 次年度予算や副会長3名等の役員の承認、世界がんがい施設遺産の認定等の表彰、今後の国際執行理事会開催予定の確認等が行われた。
- 日本国内委員会の委員から、作業部会の執行部に新たに2名(副議長1名、書記1名)が任命され、作業部会等の執行部の役職を務める日本国内委員会委員は、計7名(議長3名、副議長2名、書記2名)となった。



国際執行理事会で発言する渡邊委員長



国際執行理事会集合写真

3. 第4回世界かんがいフォーラムの概要

- 9月7日から10日まで、「かんがいは斜陽産業か」をテーマに開催された。
- 本フォーラムでは、利用可能な水資源の持続可能な開発と管理は、食料安全保障の維持、貧困削減、農村開発にとって優先課題であり、「かんがいは成長産業である」という共通認識を再確認した。

[主な日本国内委員会の活動と成果]

(第3回ハイレベル諮問グループ会合)

- ◆ マレーシア農業・食料安全保障大臣の進行により、ウズベキスタン副大臣、中国、イラン、韓国、ロシア等のかんがい排水分野の高官が出席し発言。
- ◆ 日本からは青山次長が出席し、かんがいの近代化、インフラの更新等による強靱な農業の実現に向けた日本の政策や取組を紹介。

(国際ワークショップ・サイドイベント)

- ◆ 3つの国際ワークショップにおいて、日本国内委員会の委員等が政策や取組を発表。事務局からは、昨年度本会で議論頂いた「農村振興局における今後の海外農業農村開発に関する展開方向」を発表。
- ◆ 日本国内委員会が3つのサイドイベントを主催・共催し、日本の取組や知見を発信し、意見交換を実施（「国際水田・水環境ネットワーク(INWEPF)」、「水管理への女性の参画」、「気候変動」）。
- ◆ 「第1回世界かんがい施設遺産会合」では、事務局より遺産を活用した地域活性化の取組を発表。



4. ICID日本国内委員会委員等の発表内容

イベント	発表者・タイトル 及び 参加者(※)	関心を有するテーマ
国際ワークショップ (気候変動作業部会:WG-CLIMATE)	—長野宇規(ICID日本国内委員会委員)「リモートセンシングと気候変動シナリオの併用による日本における水稲移植時期の移行推定」	
国際ワークショップ (アジア地域作業部会:ASRWG)	—木村匡臣(ICID日本国内委員会委員)「リモートセンシング、IoT、AI技術を活用したデータ駆動型水田灌漑と米の品質向上を目指して」 —事務局「農村振興局における今後の海外農業農村開発に関する展開方向」	気候変動対策の 推進
サイドイベント(主催:日本国内委員会(JNCID)、FAO、JICA)「気候変動への適応・緩和の促進に向けたかんがい排水分野の取組」	※皆川裕樹(ICID日本国内委員会委員)がパネリストとして参加。	
サイドイベント(主催:INWEPF) 「より強靱で持続的かつ生産的な水田農業」	—松野裕(ICID日本国内委員会委員)「第19回運営会議におけるWG3の活動報告」 —事務局「第20回運営会議・シンポジウムの紹介」 ※渡邊紹裕(ICID日本国内委員会委員長)がパネリストとして参加。	多面的機能の 発揮
サイドイベント(主催:国際連合食糧農業機関(FAO))「水と農業に関する国際情報システム(AQUASTAT)」	—乃田啓吾(ICID日本国内委員会委員)「水利用効率に関する日本の視点(SDG6.4.1)」	
サイドイベント(主催:JNCID、中国、マレーシア) 「第1回世界かんがい施設遺産会合」	—事務局「日本における世界かんがい施設遺産を活用した地域活性化に向けた取組」	世界かんがい施設 遺産を活用した 地域活性化
国際ワークショップ(水管理における女性活躍タスクフォース:TF-WEWM)	—越山直子(ICID日本国内委員会委員) 「日本における持続可能な水管理への女性参画に向けた取組と展望」 ※杉浦未希子(ICID日本国内委員会委員)がパネリストとして参加。	
サブテーマ1セッション:変化する世界における食料安全保障のための灌漑排水の課題	—石本帆乃(NTCコンサルタンツ(株)技師) 「福島県の国営かんがい排水事業地区における水管理システムの実態分析」	保水管理の 体制強化
サイドイベント(主催:JNCID、TF-WEWM) 「農業用水管理への女性の参画」	—星野恵美子(那須野ヶ原土地改良区連合専務理事) 「日本におけるローカルな農業用水管理における女性参画の現状と取組」 —森卓(ICID日本国内委員会委員)「中東・アフリカにおけるジェンダー視点に配慮した水利用者グループの改善プロジェクト」 ※森卓がパネリスト、越山直子がモデレーターとして参加。	
国際執行理事会・作業部会 (かんがい用水の管理と開発部会:WG-IWM&D)	—加藤亮(ICID日本国内委員会委員)「灌漑分野における気候変動への適応と緩和」 —向井章恵(ICID日本国内委員会委員)「新技術を用いた農業用ダムにおける持続可能な貯水」	スマート灌漑 システム

4. ICID日本国内委員会委員等の発表内容



1. 越山委員(国際WS TF-WEWM)「日本における持続可能な水管理への女性参画に向けた取組と展望」



2. 杉浦委員(国際WS TF-WEWM)「パネルディスカッション」



3. 長野委員(国際WS気候変動)「リモートセンシングと気候変動シナリオの併用による日本における水稲移植時期の移行推定」



4. 木村委員(国際WSアジア地域作業部会)「リモートセンシング、IoT、AI技術を活用したデータ駆動型水田灌漑と米の品質」



5. 星野那須野ヶ原土地改良区連合専務理事(サイドイベント)「日本におけるローカルな農業用水管理における女性参画の現状と取り組み」



6. 森委員(パネリスト)、越山委員(モデレーター)(サイドイベント)「パネルディスカッション」

5. 副会長選挙の結果

- 本年度で任期満了を迎える副会長(3名)の後任を決める選挙が行われ、
 (1)スペイン、(2)ネパール、(3)ナイジェリア、の序列で新副会長が選出された。

会長(任期2023~2026)

氏名	国名
Dr. Marco Arcieri	イタリア

現副会長

	氏名	国名	任期
1	Mr. Bruno Grawitz	フランス	2022-2025
2	Prof. Sylvester Mpandeli	南アフリカ	2022-2025
3	Mr. Kushvinder Vohra	インド	2022-2025
4	Dr. Tian Fuqiang	中国	2023-2026
5	Dr. Vadim Sokolov	ウズベキスタン	2023-2026
6	Dr. Watchara Suiadee	タイ	2023-2026
7	Mr. Mohd. Bouaam	モロッコ	2024-2027
8	Dato' Ir Mohd. Azmi Bin Ismail	マレーシア	2024-2027
9	Dr. Bahrom Gaforzoda	タジキスタン	2024-2027

新副会長(任期2025~2028)

序列	氏名	国名
1	Ms. Cristina Clemente Martínez	スペイン
2	Mr. Sanjeeb Baral	ネパール
3	Engr. (Mrs.) Esther Oyeronke Oluniyi	ナイジェリア

継続

改選後の地域別副会長数

- アジア・オセアニア地域 6
- アフリカ地域 2
- ヨーロッパ地域 1

6. 世界かんがい施設遺産の認定

- 日本から申請した2施設(湯の口ため池・井手、竹田のかんがい用水群)のほか、21施設(中国4、インド4、イタリア4、マレーシア1、南アフリカ4、タイ1、トルコ1、ウズベキスタン2)が世界かんがい施設遺産として認定された。
- 施設の関係者として土居竹田市長らが現地で盾と認定証を受領した。
- 世界の認定数は21カ国200施設、日本の認定数は世界最多の56施設となった。

【2025年認定施設】



世界かんがい施設遺産認定施設関係者

国名	認定数
日本	56
中国	42
インド	26
スリランカ	12
イラン	10
韓国	8
イラク	6
イタリア	8
タイ	5
豪州	3
インドネシア	3
エジプト	2
メキシコ	2
アメリカ	2
トルコ	3
南アフリカ	5
ウズベキスタン	2
マレーシア	2
モロッコ	1
パキスタン	1
ロシア	1
合計	200

7. 今後の国際執行理事会開催予定

- 今後の主要な国際会議の開催予定を次のとおり決定した。
 - 第77回国際執行理事会及び第26回総会 2026年10月12日～17日(フランス・マルセイユ)
 - 第78回国際執行理事会及び第5回世界がんがいフォーラム 2027年(中国・北京)



次年度開催予定地: フランス(マルセイユ)



(参考) 国際かんがい排水委員会 (ICID) の概要

- 国際かんがい排水委員会 (ICID) は、かんがい排水に係る科学的、技術的知見により、食料や繊維の供給を世界規模で強化することを目的として1950年に設立された自発的非営利・非政府国際機関(本部: インド(ニューデリー))。
- 毎年、国際執行理事会が開催され、各国国内委員会委員が常任委員会や各種作業部会等に参加し、ICIDの政策・運営等に関する議論、技術・情報の交換等を行う。
- 国際執行理事会と合わせて、3年に一度、関係者会合(全体会議、地域会議、世界かんがいフォーラム)をローテーションで開催。2025年は第76回国際執行理事会と第4回世界かんがいフォーラムをマレーシア・クアラルンプールで9月7日～13日に開催。

国際執行理事会 (IEC) (毎年開催)

組織委員会

地域作業部会(アジア地域作業部会等)等

技術委員会

作業部会/タスクフォース
(かんがい用水の管理と開発部会、
WWF11タスクフォース 等)

財務委員会

常任委員会

関係者会合

全体会議 (3年に一度の開催)

(全ての国内委員会のメンバー、関係国際機関等が参加)

地域会議 (3年に一度の開催)

(アジア、アフリカ、ヨーロッパ、アメリカの4地域に分かれて会議を開催)

世界かんがいフォーラム (3年に一度の開催)

(関係国政府、国際機関、民間企業等全ての関係者が参加)

農業農村振興整備部会

日本国内委員会

ICIDに関する事項、かんがい排水の改良発達に関する重要事項等を調査・審議

学術経験者等をメンバーとし、かんがい・排水・洪水等に関する知見の収集・発信

委員 : 渡邊紹裕委員長 (京都大学名誉教授) 等 19名

事務局 : 農林水産省農村振興局整備部設計課



ICID-CIID

国際執行理事会 (IEC)

・ICID執行部(会長、副会長(9人)、事務局長)
・各国代表者

常任委員会

PCSO(組織委員会)

PCTA(技術委員会)

PFC(財務委員会)

MB(運営委員会)

CO(本部)

※会長、事務局長、常任委員会議長

地域作業部会

作業部会/タスクフォース

ASRWG
アジア地域作業部会

AFRWG
アフリカ地域作業部会

ERWG
ヨーロッパ地域作業部会

AMRWG
アメリカ地域作業部会

ICID-YPF
若手灌漑技術者フォーラム

C-EVENT
イベント組織委員会

AC-IRPID
かんがい排水国際研究プログラム

Irrigation and Drainage

WG-IWM&D
かんがい用水の管理と開発部会

WG-LDRG
農地排水部会

WG-NWREP
水資源と環境保護部会

Sustainable Development

WG-HIST
歴史部会

WG-I&OMVE
開発と管理VE部会

WG-CDTE
能力開発研修教育部会

Natural Resources

WG-SCER
海岸環境の持続的再生部会

WG-IDSST
社会・経済変革期における灌漑排水部会

WG-WFE-N
水・食料・エネルギーネクサス部会

WG-WHMWS
水不足を管理するための取サス部会

Others

EB-JOUR
ジャーナル編集委員会

TF-WEWM
水管理における女性活躍タスクフォース

TF-WWF11
WWF11タスクフォース

TF-MTD
多言語技術辞書タスクフォース

Climate Change and Impacts

WG-CLIMATE
気候変動部会

: ICID日本国内委員が所属する部会等

ICID日本国内委員会について

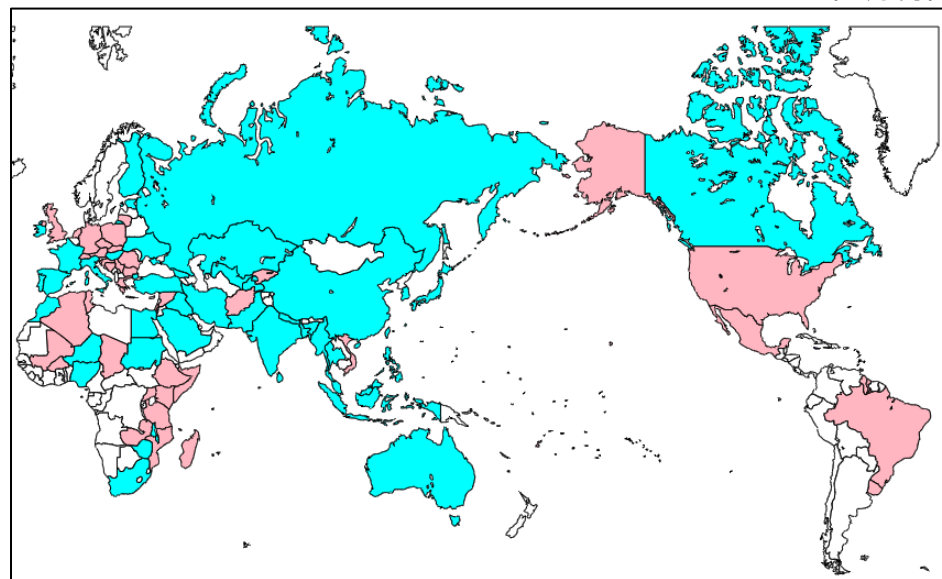
○ 日本は ICID日本国内委員会を設置し、1951年にICIDに加盟。日本国内委員会の委員による作業部会等での活動を通じ、我が国と世界のかんがい排水技術の情報を収集・発信し、世界の食料安全保障の確保等に貢献。

【ICID日本国内委員会委員】

委員名	所 属	役 職
奥田 透 【副委員長】	全国農村振興技術連盟	委員長
加藤 亮	東京農工大学大学院連合農学研究院	教授
木村 匡臣	近畿大学農学部環境管理学科	准教授
久野 叔彦	(株)三祐コンサルタンツ	顧問
越山 直子	国立研究開発法人 土木研究所寒地土木研究所 水利基盤チーム	主任研究員
雑賀 幸哉	サンスイコンサルタント(株)	取締役
清水 克之	鳥取大学農学部生命環境農学科	教授
杉浦 未希子	上智大学グローバル教育センター	教授
辻本 久美子	岡山大学大学院環境生命科学研究科	准教授
長野 宇規	神戸大学大学院農学研究科	准教授
乃田 啓吾	東京大学大学院農学生命科学研究科	准教授
福田 信二	東京農工大学大学院農学研究院	教授
松野 裕	近畿大学農学部環境管理学科	教授
皆川 裕樹	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究 機構 農村工学研究部門 水利工学研究領域	上級研究員
宮津 進	新潟大学農学部	准教授
向井 章恵	国立研究開発法人 農業・食品産業総合研究機構 農村工学研究部門 水利工学研究領域	グループ長 補佐
森 卓	NTCインターナショナル株式会社	代表取締役 社長
吉川 夏樹	新潟大学農学部	教授
渡邊 紹裕 【委員長】	京都大学	名誉教授

【ICID加盟国・地域の分布】

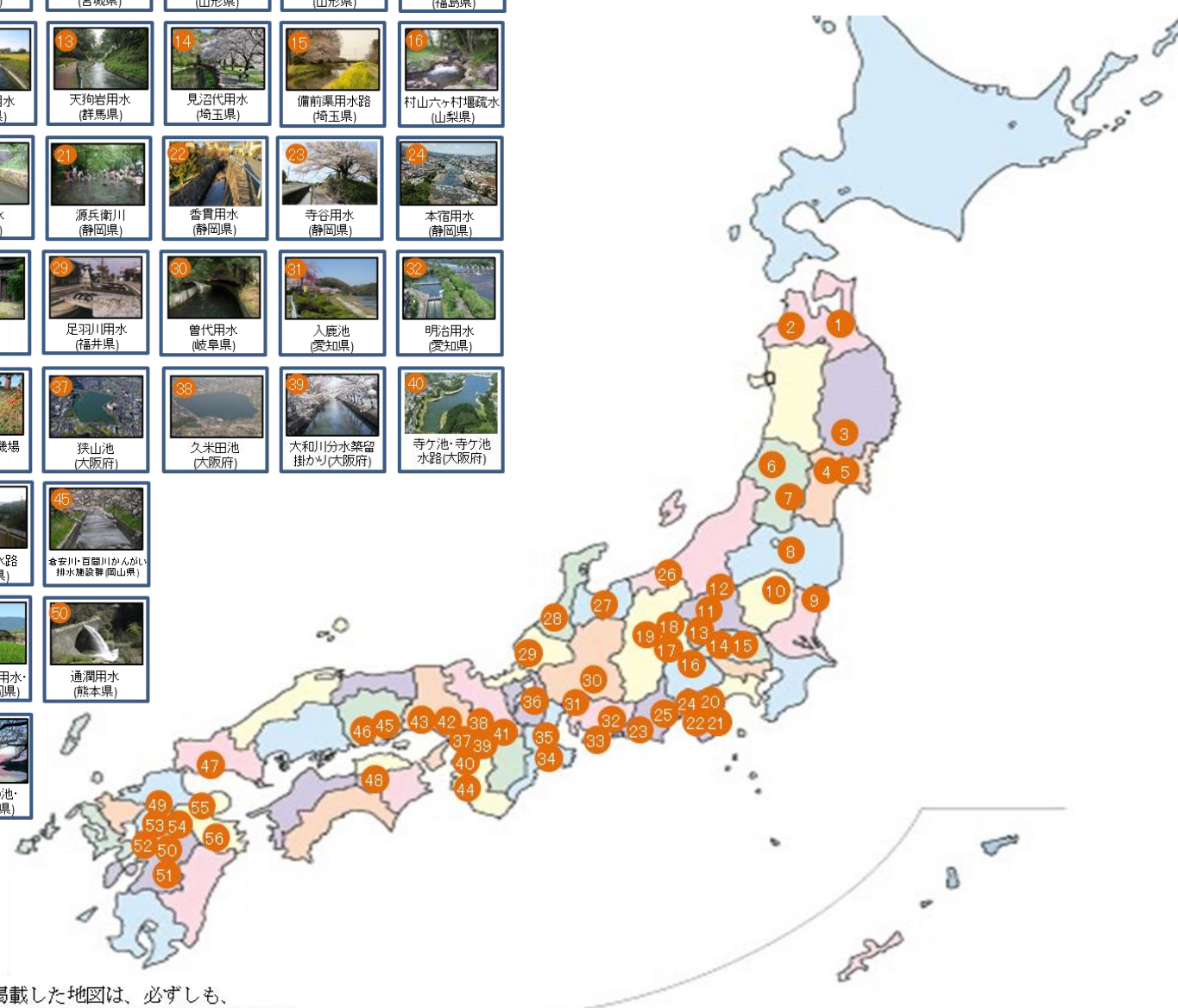
2026年1月現在



■ :加盟国 43ヶ国・地域 ■ :準加盟国39ヶ国

地域	加盟国	準加盟国	合計
アフリカ	8	13	21
アメリカ	2	5	7
アジア・オセアニア	22	6	28
ヨーロッパ	11	15	26
合計	43	39	82

(参考) 世界かんがい施設遺産の認定済み施設 (2014年～2025年)



注) 本資料に掲載した地図は、必ずしも、我が国の領土を包括的に示すものではありません。